

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	人間と外交		
英文授業科目名	People and Diplomacy		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	梶浦 篤		
居室	東1-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kajjura@hc.uec.ac.jp	なし

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>外交は、国と国との付き合いであるとされています。しかし、その担い手はあくまでも人間です。外交は様々な人間の織りなすドラマによって、形づくられているのです。とは言っても、その真相はそれに直接携わっている政治家や外交官などの、ごく少数の限られた人々でなければ、なかなかうかがい知ることはできません。それは、自国民に対してすら、秘密にされる部分が多いからです。しかし整った情報公開法を持つ国では、しかるべき年月がたてば、極秘のものかなりの部分を含む、外交文書を公開しています。</p> <p>この授業では、こうした資料をもとにして、外交の具体的な事例を、個人のキャラクターやエピソードもちりばめながら、紹介していくことにします。利用する外交文書は、公開が比較的進んでいる米国のものが中心になりますが、他の国のものもできる限り参考にしていきます。</p> <p>中心的に取上げる事例は、第二次世界大戦期以降の、日本と米国を始めとする近隣諸国との関係です。日米開戦、原爆投下、対日講和などがテーマとなります。とは言え、外交をマクロに見ていく、つまり日本や米国といった国家のみを行為者とみなすのではなく、もっとミクロに、ローズベルトやマッカーサーといった個人を主体として、見ていくことにします。また、とにかく見逃されがちな北方領土や沖縄という国境地域にも触れることにします。そして、これらの地域を客体として扱うのではなく、そこに住んでいる、あるいは住んでいた人々のことも、視野に入れていくことにします。</p> <p>さらには、現在に至るまでの、米国の対日戦後戦略や世界政略の変化といったマクロな話についても、時間の許す限り取上げていきたいと思っています</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>なし</p>
--

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

「政治学A」および「政治学B」、または「政治学」

### 【教科書等】

プリントを配ります。

#### 推薦書

五百旗頭真『米国の日本占領政策』(上)(下)、中央公論社、1985年(各2500円)。 進藤榮一『敗戦の逆説——戦後日本はどうつくられたか』筑摩書房、1999年(660円)。

豊下梢彦『安保条約の成立』岩波書店、1996年(735円)。

細谷千博『サンフランシスコ講和への道』中央公論社、1984年(2300円)。

五十嵐武士『戦後日米関係の形成--講和・安保と冷戦後の視点に立って』講談社、1995年(960円)。

### 【授業内容とその進め方】

皆さんは、「外交」というと、普段の生活とは懸け離れたものと思うかもしれませんが、しかし、外交はあくまでも人間によって行われているのです。この授業では、外交をめぐる人間関係や、外交が人々にもたらす影響について理解を深め、外交のあるべき姿を考えていくことを目標とします。従って、皆さんにより深く考えてもらうため、時々こちらから指名して意見を求めることもあります。その時は積極的に答えて下さい。宿題を出すこともあります。

概ね、以下の順序に沿って授業を進めます。

・真珠湾攻撃 ・杉原千畝の命のビザ ・大西洋憲章と連合国共同宣言 ・米  
国国務省東アジア・グループ ・カイロ宣言 ・北方領土の先住民族 ・ヤルタ協定 ・硫黄島・沖  
縄の戦い ・ポツダム宣言 ・原爆投下 ・日ソ中立条約とソ連の対日参戦 ・終戦 ・戦後改革  
・冷戦と逆コース ・対日講和条約

### 【授業時間外の学習(予習・復習等)】

宿題のほか、普段から、図書、雑誌、新聞、テレビ・インターネットのニュースなどを参考にして、外交について、自分なりの考えを持つように努めておくこと。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートによって評価します。課題は論述式です。詳しくは追って通知します。

評価基準は、一概には言えませんが、おおよそ以下のようなことが目安となると言えます。

S：授業で扱ったテーマについて、opinion leader になれるとみなされる。

A：授業で扱ったテーマについて、自分自身の意見を持っているとみなされる。

B：授業で扱ったテーマについて、よく理解しているとみなされる。

C：授業で扱ったテーマについて、基本的なことは理解しているとみなされる。

授業の内容を理解しただけで、自分自身で考えることをしなかった場合は、高得点は望めません。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、事前に予約を取って下さい。

### 【学生へのメッセージ】

頭の中だけではなく、心の中でも考えましょう。

机の上で考えるだけではなく、歩いて考えることもしましょう。

身の回りのことを考えるだけではなく、地球規模でも考えましょう。

### 【その他】

なし